



すすんで学ぶ  
心豊かな子  
たくましい子

# 中宮

令和 4 年 3 月 1 日  
第 631 号  
枚方市立中宮小学校  
校長 池原 義人

## 本年度最終月 充実の 1 年にするために家庭学習を!



### 準備の準備

1 月学校だよりにて、3 学期は締めくくりの学期であり、準備の学期でもあると書きました。次年度への準備には、いろいろあると思いますが、まずは本年度の学習をしっかり理解して終えることが、その前提となります。

「エビングハウスの忘却曲線」をご存じでしょうか、人間は学習しても復習しないと忘れていくものであり、復習をしないままでは一か月後には 8 割忘れていくそうです。ただ、このことを調べると諸説あるので、ここでは「復習をしないと忘れてしまう」という確かなことだけでお話させていただきます。

「この子は、習ったことをすぐ忘れてしまうんです」担任をしているときに保護者からよく聞いたフレーズですが、その子が悪いわけではなく、家庭学習をしていなければ当然のことなのです。学校では、年間計画に従って単元ごとに学習を進めていきます。もちろん宿題や学期毎の復習のときに同じ内容を扱いますが、それだけでは間違いなく忘れていきます。

家庭学習をしないということは、月日が経つほどに学校で学習したことを忘れてしまうということです。3 学期が終わるころには、1 学期 2 学期に学習していたことをたくさん忘れてしまい、春休みが終わるころには、前年度の学習をすっかり忘れていくという児童が出てきます。また、学年が上がるにつれて、忘れ去っていくことも積み重なっていくわけですから、高学年になればなるほど、勉強がさっぱり分からなくなっていくのは、ごくごく自然なことと言えるでしょう。

例の学校の生徒たち、塾通いをしていた者がたくさんいました。ある裕福な家庭の生徒は、家庭教師もつけてもらっていました。「授業を受け、忘れていく」を、小学 1 年生から中学 3 年生まで 9 年間繰り返してきたわけですから、塾だけでは間に合わなかったのだと思います。それだけしてもらっても合格したのは、その 1 校だけだったのでしょ。入学後も改善されず、忘れ去るサイクルを繰り返していました。結果、親が望む大学進学も叶わず、例の専門学校（誰でも受け入れてくれる専門学校）に進学していきました。

「ぼく、本当は佐々木アニメーション学院に行きたいんです」「お前それ代々木アニメーションやろ、勉強せえ!」「はい」というような会話が卒業まで続きました。

人は忘れていく動物のようです。学校の授業で身につけた知識は、そのときには十分であったとしても、何もしなければ忘れていきます。家庭で、どれだけのどのような内容と頻度で学習しているかが、身に付いた学力の差かも知れません。せっかく学習したことを無駄にしないためにも、新年度への準備に取り組むためにも、まずは「準備の準備」をお願いします。

### オンライン授業について

我々教職員よりも、一般市民の方々が先に知る形でハイブリッド型授業が決まっていました。子ども達の学びを止めないため、コロナ感染拡大を防止するため、子ども達の健康や命を守るためにということで、校長としてハイブリッド型授業を教職員に指示しました。そんな想いで始まったハイブリッド型授業（オンライン授業）ですが、その意味合いが変わってきているのではと心配になっています。「寝坊したから今日はオンラインで」、「授業が終わったらすぐ家でゆっくりできるから」、ものを食べながら授業を受けている、寝転んでいるのか何かをしながら受けているのか画面にまったく映らない状態、これらのことを児童の発言から、担任の報告から知りました。

学びを止めないとは言え、実際に登校して対面で授業を受けているのとは違います。児童の様子、問題への取り組み方などを観察して、必要な指導を継ぎ足しているのが普通の授業です。それができないオンライン授業では、その分を家庭学習で補う必要があります。宿題以外には何もせず、一日数時間の映像をただ流しているだけでは、コロナ禍以前の学校生活に戻ったとき、学習について行くことができなくなります。また、生活習慣が乱れていたりすると、学校に行きづらくなってしまいます。学習の遅れを取り戻すことより、自由気ままな生活から抜け出すことの方が大変です。そのようなことにならないよう、家庭内でのご指導よろしくをお願いします。



### 大阪府新学力テスト(すくすくウォッチ)-新 6 年生・新 5 年生

令和 3 年度より新しい学力テスト(すくすくウォッチ)を実施しています。令和 4 年度は 4 月 18 日(月)~4 月 26 日(火)の間に実施します。対象は、新 6 年生(現 5 年生)と新 5 年生(現 4 年生)で、そのテスト結果は中学校へ引き継ぐこととなります。ただし、結果が高校入試の合否に関わるというようなものではなく、中学校 3 年生になるまでの学力の変化を把握し、一人ひとりの実態に合わせた指導を行っていくことが目的のテストです。

ただ、これらのテストを、近い将来を意識するよい契機にしてもらいたいと思っています。この一年間、私は以前に勤めていた学校の話は何度も書いてきました。その学校は、どの高校にも受け入れてもらえない、高校というところに行くことができない中学生の受け皿のような学校でした。生徒たちは、近隣の高校生からひどい言葉でバカにされ、進学や就職の度に悔しい想いをしていました。

中宮の子ども達には、望まない進路へ進み、同年代の人間にバカにされるような、そんな数年後を味わわせたくないと思っています。そのために、高校入試を直前にしたそのときではなく、そのときより少しでも早めに動きだしてほしいのです。

全国学力学習状況調査には、令和 4 年 4 月 19 日(火)に全国の新 6 年生が、大阪府新学力テスト(すくすくウォッチ)には、上記期日に大阪府内全小学校の新 5 年生・新 6 年生が臨みます。

新 6 年生は、その 3 年後に、新 5 年生は、その 4 年後に、高校受験を迎えます。きっかけとしては、早くもないタイミングだと思います。親子で試験対策を始めてはどうでしょうか。

